

# 新しいステージへようこそ！吹奏楽コンクール 新部門（C部門・F部門）へようこそ！



# もっと自由に、もっとたくさんの人に、 音楽を楽しんでほしい！

人数が少なくて  
出場できる

決まった楽器が  
なくても演奏できる



人数や楽器の偏りがあっても  
出場できるコンクール



地域みんなで音楽を続けるために、  
もっと自由に、柔軟に参加できる  
「新しい仕組み」を作りました！

# 君たちの学校にぴったりのなのは 「C部門」と「F部門」どっち？

中学生・高等学校

C部門



どっちのトビラを開ける？  
さっそく違いを見てみよう！



中学生・高等学校

F部門



50

共通の絶対ルール：どちらの部門も「ステージで演奏する人数は50人まで」！（※指揮者は人数に入りません）

# C部門とF部門のちがいが一目でわかる早見表



	C部門	F部門
 学校の「総部員数」の制限	50人まで (少人数の学校向け)	 制限なし (何人でもOK)
 他の部門との 「かけもち (重複参加)」	 できない	 できる (※A部門やS部門など。 ただし出る人が違う場合のみ!)
 他の学校との 「合同チーム」	 できる (合計で50人まで)	 できる (S部門と他校と合同で F部門に出るのもOK)

# 自由な音色で、ステージをかざろう!



## スカット

曲中の「ルルル〜♪」  
などの声もOK!



## 弦楽器

バイオリンなどもOK!



## 電子楽器

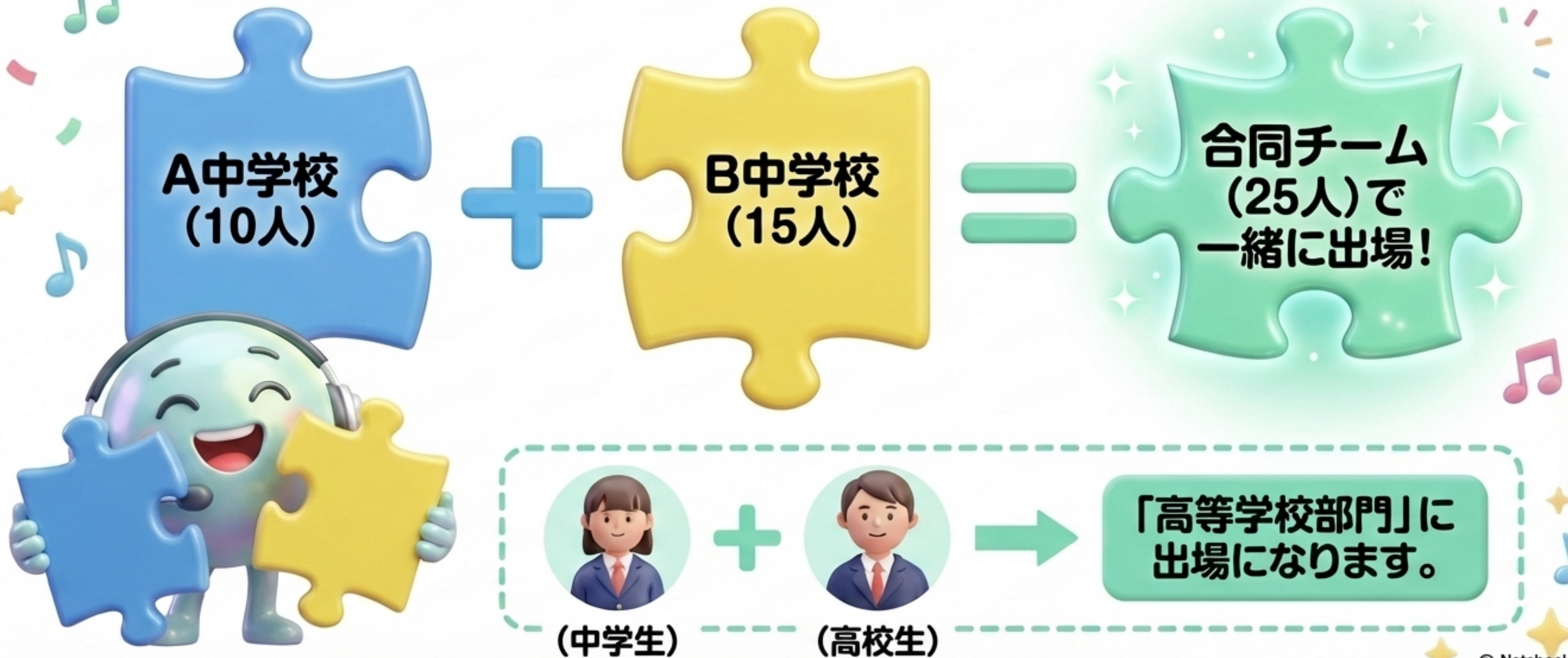
キーボードなどの  
使用OK!

課題曲はありません。  
みんなの好きな曲(自由曲)で  
勝負しよう!

⚠ ハープやウッドベースの  
反響板は使用できません。



# 人数が少なくても大丈夫! 「合同バンド」で一緒に出場しよう



1秒でも過ぎたらアウト!  
「7分の壁」を絶対に守ろう



演奏時間は「7分以内」です(ステージへの出入りは時間に入りません)。

ステージの上での「試し吹き(音出し)」は禁止です。  
(ティンパニのチューニングだけ、暗い時にも時間内で行うのはOK)



# 1人が立てるステージは、1回だけ! かけもち出場はできません



同じ人が「A部門」と「F部門」の両方に出ることは絶対にできません。



学校から「別々のチーム」を作って、  
違う人がそれぞれの部門に出るのはOK!

# 曲を作った人の「許可」をもらおう（著作権のルール）



- 勝手に楽譜をコピーしたり、アレンジ（編曲）したりしてはいけません。
- 必ず、曲を作った人から「許可（OK）」をもらってください。
- コンクールに申し込む時に、「許諾書（OKの紙）」のコピーを必ず一緒に提出してね！ レンタル譜の時も同じです。

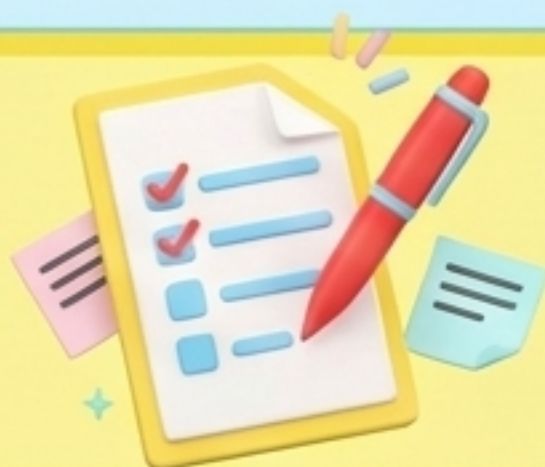
# 美しいステージのための「持ち物」と「指揮者」のルール



ハープやコントラバスを乗せる「大きな台」や、ホルンの「反響板」をステージに持ち込むことはできません。



1つの団体につき「1人」だけが指揮をします。同じ指揮者が、同じ部門で2つ以上の団体を指揮することはできません。



もしメンバーが変わる時は、大会の当日に「赤色」のペンで申込書を書き直して、受付に出してください。（曲の変更は出演者会議まで）



# 会場で用意されている大きな楽器たち



チャイム



ティンパニ 5台



マリンバ



ビブラフォン



シロフォン



ドラ



バスドラム



グロッケン



ドラムセット



準備や片付けの時間を守るため、これらの大きな楽器は大会側で用意しています。みんなで大切に使おう！

# さあ、新しい音楽の冒険へ出発しよう！

ルールを守って、キミたちだけの最高の7分間をみんなで作ろう！  
西阪神地区吹奏楽連盟は、みんなの新しいチャレンジを応援しています。

